

# 浅倉寿さん(49)

福知山市拝師

県域を越えて人と人をつなぎ、北近畿を活性化することをコンセプトとする北近畿経済人リレーインタビュー。今回は公衆精密(株)(綾部市岡安町)の野口裕介さん(47)からバトンを引き継いだ、科研テクノス(株)(福知山市拝師)の浅倉寿さん(49)に話を聞いた。

— 事業内容を教えてください。環境試験機や自動車部品製造機械など、

省力機器の電気・機械設計を手掛けておられます。

— 強みは？

顧客の要望を確実にこなすことで、継続的な取引につなげています。例えば、同じような機械を設計する場合、ベースが同じであっても企業によって仕様は細かく変わります。そこをきめ細やかに

にフォローできるのは？

一時は売り上げベーパーの長い取引先では製品開発の段階から弊社を開発メンバーに加えてくれるところもありました。元通りに回復していませんが、1割減程度にまで戻ってきました。

— コロナ禍の影響

— コロナ前までの売り

— 採用は続けています。

— 定着率が高い要因

— 「本場に必要なの？」

— コロナ禍であった

— 今後の事業展開

## 原点に返り本業に集中 自立した社員になって！



### プロフィール

あさくら・ひさし 1971年6月2日生まれ。綾部市出身。舞鶴高専卒。エスペック(株)を経て父が経営する産業機器製造・検査の科研電機(株)(福知山市)に技術者として入社。35歳の時に同社の設計部門を切り離して科研テクノス(株)を設立した。趣味は中学生のころから続けているサッカーで、今も社会人チームで活動する。妻と2男1女の5人家族。

も、採用は続けています。弊社には人あつてのものが特長です。

— 今後の事業展開

例えば始業や終業、休憩のチャイムに、制服。工場だと決まった時間にチャイムを鳴らすのは当然で、安全確保のために作業服も必要です。しかし、設計をするのにチャイムも制服も不要。集中していられる時間は人それぞれなので休憩は自分が取りたい時に取るようにしていますし、決められた制服もありません。

その代わりに「お客様が求めるものをつくる」という思いを持ち、自立した社員になってほしいと考えています。指示待ちよりも、お客様の要望を具現化するために自分で考える。アウトプットを最大化する過程に制服や休憩時間は関係ないと考えています。

— 次の経済人を紹介してください

井上(株)(福知山市篠尾新町3丁目)の井上大輔さん。仲良くさせてもらっている経営者仲間です。福知山のまちをけん引する、頼りになる存在です。(岡田

— コロナ禍の今こそ原点に返り、本業に集中することで会社の特色を出したいですね。

— コロナ禍の今こそ原点に返り、本業に集中することで会社の特色を出したいですね。

— コロナ禍の今こそ原点に返り、本業に集中することで会社の特色を出したいですね。

— コロナ禍の今こそ原点に返り、本業に集中することで会社の特色を出したいですね。

— コロナ禍の今こそ原点に返り、本業に集中することで会社の特色を出したいですね。

— コロナ禍の今こそ原点に返り、本業に集中することで会社の特色を出したいですね。